



身近な危険箇所地図に 佐和山小児童らが作成

の事件・事故の発生し
やすい場所を見つける
「地域安全MAP教室」
（「だいじょうぶ」キ
ャンペーン実行委員
会、エフエム滋賀主催、
東京海上日動火災保険
協賛）が11日、彦根市

子どもたちもた
ちが街なか
で危険箇所を
見つけ、地図に
書き込んでいく。

東京海上日動火災保険の社員らと共に校区内の危険箇所を見て回る子どもたち＝彦根市内で

安清町の市立佐和山小学校で開かれた。子どもたちに危険察知能力を付けてもらうのが目的。3、6年生31人と保護者1人が参加した。まず、犯罪社会学の小宮信夫・立正大教授が危険な場所について説明。その後、東京海上日動火災保険と代理店の社員をサポートしに街を歩いて地図を作る予定だったが、降雨のため、校内で写真をもとに安全地図を作った。作成後、雨がやんだため、校外に出て危険箇所を確認した。

通学路を確認のために歩いた5年生の川口煌太さん(10)は「身近なところにも思ったより危険な場所があるのにびっくりした。これから気をつけたい」と話していた。

【西村浩一】

2017年11月12日(日)付 毎日新聞 滋賀県版
「地域安全MAP教室」彦根市立佐和山小学校実施分 報告記事